

保証とアフターサービス (よくお読みください)

■故障の際は 下記の保証規定の範囲内で無償保証対応をいたします。

※販売店印がない場合は無効ですので、必ず印の有無をご確認ください。

もし印がない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

販売店の印がいただけない場合は、レシートなどの購入を証明できる物を保証書に貼り付けてください。

※販売店様へのお願い

お買い上げ日、貴店の所在地・名称・電話番号を記入、捺印の上、お客様にお渡しく下さい。

※保証期間内に故障して無償保証をお受けになるときは、商品と本書をご持参、ご提示の上お買い上げの販売店にご依頼ください。

●次の場合には、保証期間でも有料になります。

①この保証書の提示がない場合

②この保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいはこれらの字句を書き換えられた場合

③ご使用上の不注意、あやまりによる故障、損傷

④お買い上げの販売店、または当社サービス部門以外での不当な修理、または改造による故障、損傷

⑤火災、地震、水害、落雷、その他の自然災害及び、異常電圧、その他外的要因による故障、損傷

⑥お買い上げ後の輸送、移動時の落下などによる故障、損傷

⑦本商品以外の機器に起因する故障、損傷

⑧特に過酷な条件下において使用された場合の故障、損傷

⑨中古品として本製品をご購入された場合（リサイクルショップでの購入、オークション購入での中古品を含む）

⑩本製品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷

⑪消耗品の損傷

●この保証書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid in Japan.

●この保証書は、再発行できません。紛失しないように大切に保管してください。

●この保証書は、本書に明示した保証期間のもとに無償保証をお約束するもので、本書によってお客様の法律上の権利を請願するものではありません。保証期間内での本保証内容についてご不明な場合、また保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または当社にお問い合わせください。

Electric Kettle

漏水防止ケトル

取扱説明書



ご使用前に必ずお読みください

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

安全にご使用していただくために、必ず取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。


なお、この取扱説明書には保証書が付いております。


重要な説明書のため、お読みになったあとも大切に保管してください。

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。


お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 **警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容


 **注意** 人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

絵表示の例

 左図の記号は、「強制」の行為を示しています。必ず守っていただく内容です。



 左図の記号は、「禁止」の行為を示しています。してはいけない「禁止」内容です。

警告

-  **強制**
- AC100V で使用する
- 15A 以上のコンセントを単独で使用する
 - ・タコ足配線は、異常発熱、発火の原因になります。
- ご使用の際は電源プラグをコンセントに確実に差し込む
 - ・ショート、火災、感電の原因になります。
- 電源コード、電源プラグの破損、損傷がないかを確認する
 - ・ショート、火災、感電の原因になります。
- 電源プラグに埃がついている場合は、きれいに拭き取る
 - ・ショート、火災、感電の原因になります。
- 次のような場合は、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
 - ・本体が異常に熱くなる。
 - ・発煙、異臭がする。
 - ※火災、感電、火傷、ショートの原因になります。

安全上のご注意

警告

-  **強制**
- ご使用の際は、必ず水平な場所で行う
 - 不安定な場所や熱に弱い敷物、特に白色系の上では使用しない
 - ・熱による変形、又は火災の恐れがあります。
-  **禁止**
- 分解、修理、改造をしない
 - ・感電、火災、けがのおそれがあります。
- 電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない
 - ・ショート、火災、感電の原因になります。
- 電源プラグをコンセントに差し込んだときに、緩みがあるときは使用しない
 - ・ショート、火災、感電の原因になります。
- 水につけたり、濡れた手で使用しない
 - ・ショート、火災、感電の原因になります。
- 幼児や子供の手の届く所に保管しない、また子供だけで使用させない
 - ・事故の原因になります。
- 本製品は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を使用しない
 - ・感電、けがの恐れがあります。
- 本来の使用目的以外には使用しない
 - ・故障や事故の原因になります。
- 本体を火のそばに置いたりしない
 - ・事故、破損、火災の原因になります。
- 使用中、ふきんなどで注ぎ口をふさがない
 - ・ふきこぼれて、やけどをすることがあります。
- 直火（ガス台等）や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に載せない
 - ・火災の原因になります。
- 湯沸かし後しばらくは、持ち手以外の高温部に触れない
 - ・やけどの原因になります。
- 空焚き（中身が空の状態加熱）はしない
 - ・故障の原因になります。
- 落としたり、ぶつけたときは本製品に破損や亀裂、変形がないかよく点検し、破損や亀裂、変形がある場合は使用しない
 - ・感電や思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 最大目盛 (MAX) 以上の水を入れない
 - ・お湯が吹きこぼれて、やけどをするおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 注意



禁止

- 本体の上に座ったり、体重をかけたりしない
・破損の原因になります。
- 踏みつけられるような場所に放置や保管をしない
・破損または滑って事故を招くおそれがあります。
- 鋭利なものや突起物などで本体を傷つけない
・破損の原因になります。
- 高温多湿の場所や直接日光が当たる場所に放置、保管をしない
・高温多湿の場所に置くと、カビが発生する原因となります。
・直射日光の当たる場所に置くと、変色や劣化の原因となります。
- ご使用中はその場を離れない
- 壁や家具の近くで使わない
・蒸気または熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。
- 上蓋を開けるときの、出る蒸気に触れない
・やけどの原因になります。
- 電源ベース中央の接続部にピンを差し込んだり、ゴミを付着させたりしない。
・ショート、感電、故障の原因になります。

⚠ 注意



強制

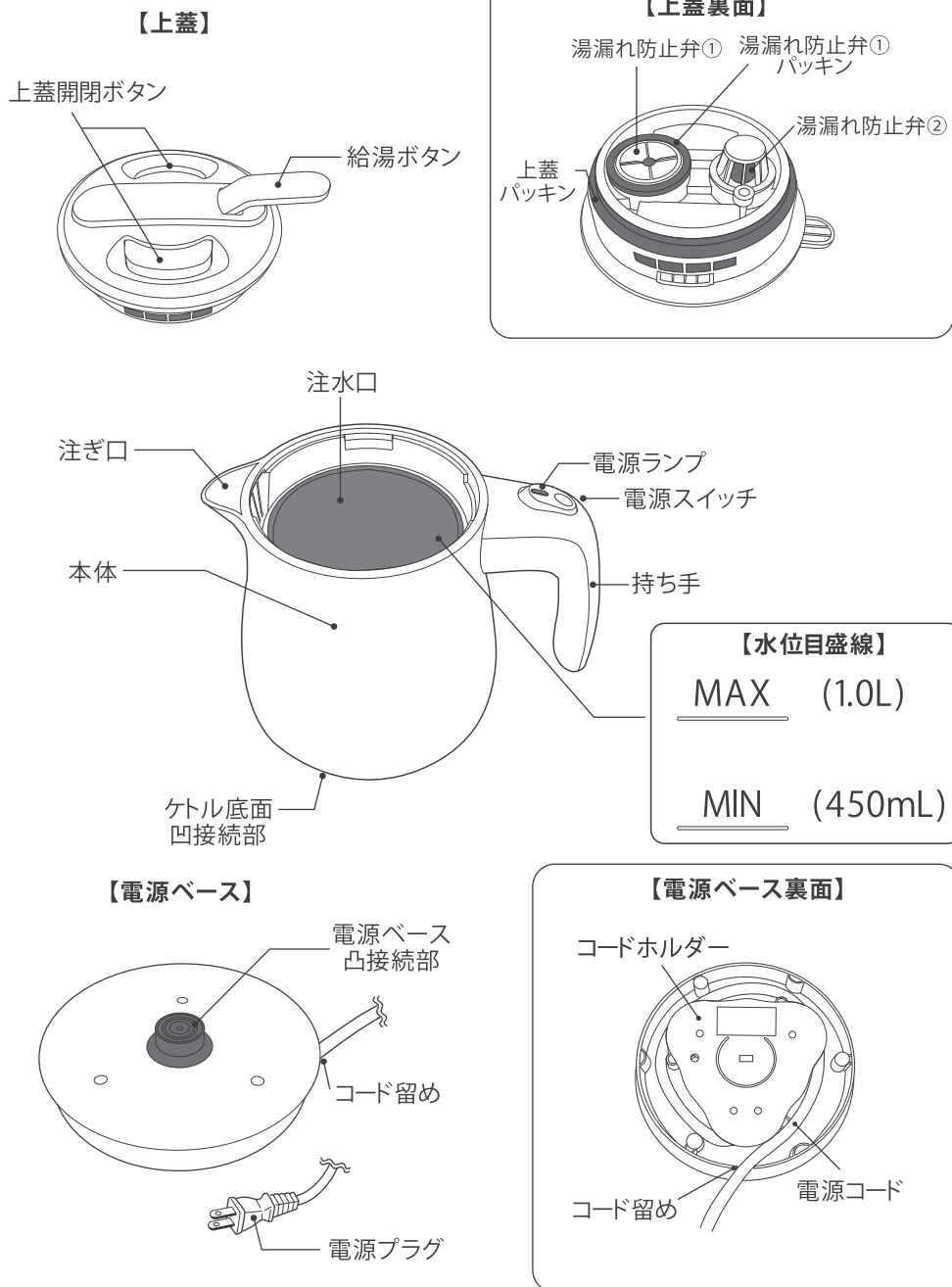
- ご使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜く
・火災、故障の原因になります。
- 電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差しする
・コードを持って抜き差しすると、断線・ショート、感電の恐れがあります。
- お手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷めてから行う
・高温部に触れるとやけどの原因になります。
- 電源プラグや電源コードが破損した際は、ただちに使用を中断し、
カスタマーセンターにお問い合わせください

製品仕様

品名	漏水防止ケトル
品番	2424/RBKETTLE
カラー	アイボリー
サイズ(約)	高さ(H)20×幅(W)16×奥行(D)21cm(電源ベース含む)
質量(約)	本体(フタ含む):750g 電源ベース:180g
主な材質	ポリプロピレン
定格電圧/周波数	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	1000W
コードの長さ(約)	70cm
容量	1.0L
セット内容	電源ベース、取扱説明書

※商品は改良の為、仕様・外観など予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

各部の名称



⑤

使用方法

■ご使用前に

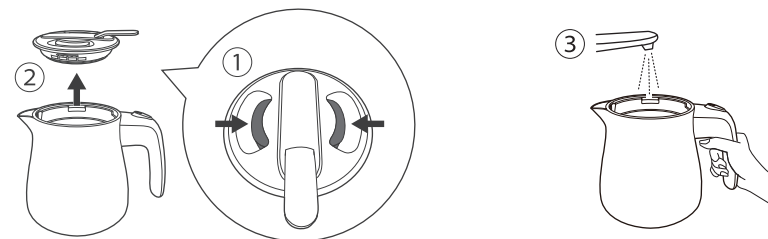
- 本製品は、本体と電源ベースに分かれています。
- 電源スイッチを入れないと通電しません。また、ケトル本体を電源ベースからはずすと電源スイッチは自動的に切れます。
- 空焚きをすると、安全装置が作動して、電源スイッチが自動的に切れます。安全装置の回復まで 20 分程必要とします。その間電源スイッチを入れてもランプは点灯しません。

■ご使用上の注意

- お湯を沸かすときは必ず上蓋をしっかりお閉めください。
- 水以外は沸かさないでください。
- 保温機能はありません。
- 火にはかけられません。直火、電気ヒーターにはのせないでください。
- 湯沸かし中は注ぎ口をふさがないでください。
- 湯沸かし中、湯沸かし後は持ち手以外の本体部は熱くなるので、触れないでください。また、熱い蒸気に気をつけてください。

1. ケトルに注水する

1. 上蓋開閉ボタンを押しながら ① 蓋を開ける ②。
 2. 必要な量 (450mL~1.0L) の水を入れ ③ 蓋を閉める。
- ※上蓋がきちんと閉まっていることを確認してください。上蓋がきちんと閉まっていないと、お湯が沸いても沸騰を検知できず、電源が切れないことがあります。



お願い

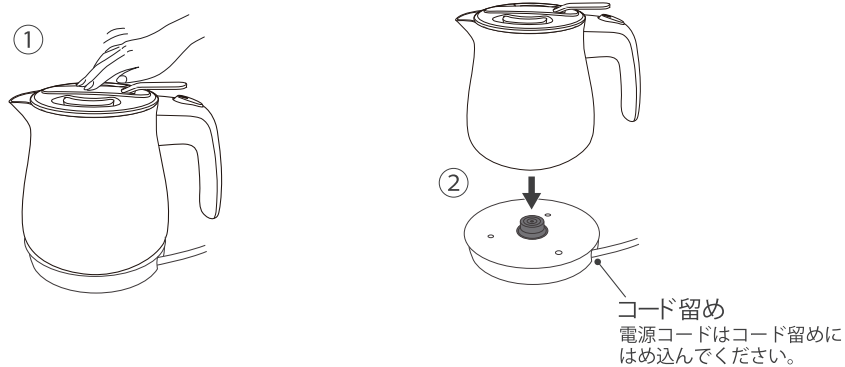
- 水以外のものは入れないでください。
- 蓋を閉める時は「カチッ」と音になるまでしっかり閉めてください。
- 空焚きの原因となりますので水位目盛線の「MIN」(450mL) より少ない量でお湯を沸かさないでください。
- お湯が吹きこぼれるおそれがありますので、水位目盛線の「MAX」以上の水を入れしないでください。

⑥

使用方法

2. ケトル本体を電源ベースに載せ、電源を入れる

1. 上蓋がしっかりと閉まっていることを確認します (①)。
2. 水を入れたケトルを、電源ベースの中央に正しく (ケトル底面の凹接部と電源ベースの凸接続部を合わせて) セットします (②)。

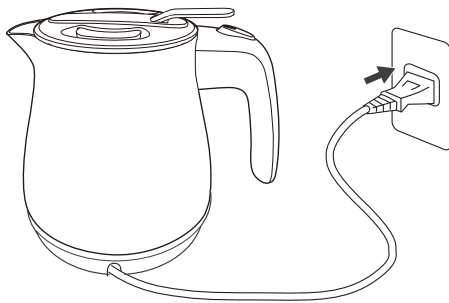


お願い

- 電源ベースは水平な場所に置いてください。
- 本体を電源ベースの中央にセットしてください。
- 上蓋がきちんと閉まっていることを確認してください。蓋がきちんと閉まっていないと、お湯が沸いても沸騰を検知できず、電源が切れないことがあります。

3. 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込みます。
※根元までしっかりと差し込んでください。

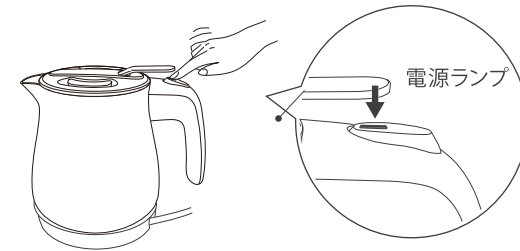


⑦

使用方法

3. 電源スイッチを押して電源を入れる

電源ランプが点灯し、湯沸かしを開始します。



注意

- やけどするおそれがあるので、湯沸かし中や湯沸かし直後は、絶対に蓋を開けたり、お湯や水をつぎ足したりしないでください。

4. お湯が沸き、電源が切れる

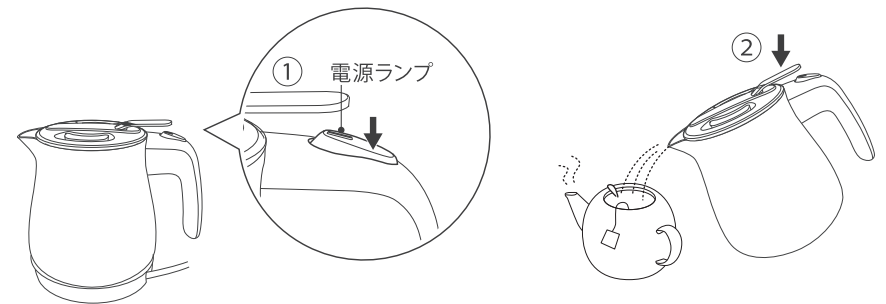
1. お湯が沸くと自動的に電源が切れます (①)。
(電源スイッチが元に戻り、電源ランプが消えます。)
2. 給湯ボタンを押しながら注水してください (②)。

<お湯が沸く前に電源を切る場合>

電源スイッチを指で押して電源ランプが消えたことを確認してください。

<連続して使用する場合>

数分間、冷ましてから電源スイッチを押してください。



お願い

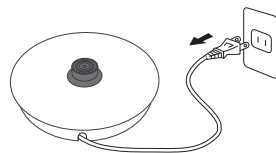
- 電源ランプが消灯していることを確認し、本体を電源ベースから外してお湯を注いでください。
- 湯沸かし直後は、本体が熱くなっているので注意してください。

⑧

使用方法

5. 使用後は

1. 残った水は残さず捨ててください。
2. 使用後はコンセントから電源プラグを抜きます。



お願い

- 水のつぎ足しをくり返して長時間使用すると、水垢が付着したり、お湯が変質したりすることがあります。1日1回はお湯を捨ててください。

お手入れと保管方法

お手入れの前に

- ※こまめにお手入れをしてください。
- ※本体の丸洗いはできません。

⚠ 警告

- 通電状態でお手入れをすると、感電やけがの原因になりますので、お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ベンジン・クレンザー・たわしなどを使わないでください。
- 動作不動、感電のおそれがありますので、食器洗い乾燥機や食器乾燥機は使用しないでください。
- 本体の丸洗いはできません。本体の外側に水をかけないでください。水洗いする際は、本体の外側が濡れないように十分ご注意ください。
- 長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてください。

本体内側の水垢(変色)や白い浮遊物について

- 白い浮遊物（ミネラル分の結晶）
- 乳白色、黒色、虹色などの変色
- 赤さび状のはん点（もらいさび）
- ざらつき

上の例は、水に含まれるミネラル分などの作用によるもので容器自体の変色や腐食ではありません。

衛生上に問題はありませんが、定期的にクエン酸洗浄でお手入れしてください。

※ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは容器が変色したり、水垢が発生しやすくなります。

本体外側のお手入れ

- よく絞ったふきんで拭きます。

フタのお手入れ

- 水洗いしたあと、水分を完全に拭き取り乾かします。

電源コード・電源プラグのお手入れ

- 乾いた柔らかい布などで拭き取ります。
- ※シンナー・ベンジン・磨き粉・化学ぞうきんは使用しないでください。

お手入れと保管方法

本体内側のお手入れ

- 市販のケトル洗浄剤、またはクエン酸洗浄をします。
 - その後、水分を完全に拭き取り乾かします。
- ※長く使用していると本体内部に水垢が付着することがあります。

<クエン酸洗浄>

※市販の電気ケトル洗浄剤が便利です。その場合は洗浄剤の取扱い指示に従ってご使用ください。

1. ケトル本体に最大水位目盛線「MAX」(1.0L)まで水を入れ、約15gのクエン酸を入れて、上蓋をする
2. ケトル本体を電源ベースに乗せ、電源を入れる
3. お湯が沸き、電源が切れる
沸騰後、約1時間放置する
4. ケトル本体を電源ベースからはずし、お湯を捨てる
5. ケトル内部をよく水ですすぐ
6. クエン酸のにおいを取るために、水を最大目盛線「MAX」(1.0L)を入れて再沸騰させる
お湯が沸いたらケトル本体を電源ベースからはずし、お湯を捨てる

お願い

- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄を行ってください。
- クエン酸洗浄の湯は飲まないようにしてください。
- クエン酸洗浄後は電源を切ってください。

収納する

- 直接日光を避け、湿気が少ない場所に保管してください。
- ※本体をお手入れしてからポリ袋などに入れ、お買い上げ時の箱に収納します。

廃棄する場合

- 地方自治体の処分方法に従って処理してください。

故障かな？と思ったら

症状	原因として考えられること	処置
お湯が沸かない	電源ベースのコンセントが外れていませんか？	コンセントをきちんと差し込んでください。
作動しない。沸騰する前にスイッチが切れてしまう	450mLに満たない水量で湯を沸かしていませんか？ また、水が入っていない状態でスイッチを入れていませんか？ ケトルを空焚きすると、空焚き防止用の安全装置が作動して、スイッチが入りません。	ケトルをよく冷ました後、水を450mL入れて、電源スイッチを押してください。
湯に白い物が浮く、ケトル内部が汚れていたり、壁面がはがれたように見える	ケトル内部に水垢が付着した後、はがれた物だと思われます。ミネラル分が多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがあります。有毒ではありません。	ケトル内部をお手入れしてください。(10~11ページ参照)
湯沸かし時の音が大きくなる	本体内部底面に水垢が付着したためです。	ケトル内部をお手入れしてください。(10~11ページ参照)
電源スイッチが入らない	本体と電源ベースの端子接続部は正しく接触していますか？	きちんと接続されていることを確認してください。
電源スイッチが切れない	上蓋は閉まっていますか？ 上蓋がしっかり閉まっていないと沸騰してもスイッチが切れません。	上蓋をしっかり閉めてください。

上表にしたがって調べていただいても原因がわからないときや、その他の異常や故障があるときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。